

目次

最新情報	1
ドライバーのインストール時の注意点	1
インストールについてよくある質問と回答 (FAQ)	2
Windows のインストールについて	2
Windows または Mac OS X のインストールについて	2
Cubase LE4 について	2
取扱説明書追補	2
新機能	3
Windows ドライバー	3
Mac OS X ドライバー	4
メンテナンス項目	4
ファームウェア	4
Windows ドライバー	4
Mac OS X ドライバー	5
既知の不具合	6
Windows ドライバー	6
Mac OS X ドライバー	7
Cubase LE4	7
その他の項目	8

最新情報

本機のドライバーソフトウェアおよび本体のファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。最新のソフトウェアとファームウェアに関しては、TASCAM のウェブサイト (<http://www.tascam.jp/>) にてご確認ください。

ドライバーのインストール時の注意点

新規ドライバーをインストールする場合は、必ず古いドライバーを削除してから新しいドライバーをインストールしてください。

インストールについてよくある質問と回答 (FAQ)

Windows のインストールについて

本製品を接続すると "ハードウェアの追加ウィザード" が現れますが、ドライバーをインストールすることができません。どうやってドライバーをインストールすればよいですか？

《ハードウェアの追加ウィザード》閉じ、本製品の接続を外してください。本製品を接続する前に、あらかじめドライバーをインストールする必要があります。製品に同梱された CD-ROM を挿入すると、ドライバーをインストールするためのメニューが自動的に表示されます。《Install Driver》を選択して、スクリーンの上の指示に従ってください。TASCAM のウェブサイトからドライバーをダウンロードした場合は、ZIP アーカイブを解凍して《setup.exe》を実行し、スクリーンの指示に従ってください。

Windows または Mac OS X のインストールについて

ファームウェアとドライバーのどちらを先にインストールした方がよいでしょうか？

最新のドライバーを先にインストールし、それからファームウェアをアップデートしてください。

製品のファームウェアは、どうやってアップデートするのでしょうか？

TASCAM のウェブサイトから最新のアップデートアプリケーションをダウンロードし、それを起動してください。製品をパソコンに接続し、電源を入れアップデートアプリケーションが検知されるのを待ちます。それから《write firmware》ボタンを押してください。

Cubase LE4 について

Cubase LE4 の最新版 Hotfix を、以下の Steinberg Media Technologies GmbH. 社のウェブサイトから入手してお使いください。

<http://japan.steinberg.net/index.php?id=787&L=1>

取扱説明書追捕

マルチ・クライアント動作

Windows 環境では、本機を使用して異なるドライバープロトコルを使う複数のオーディオアプリケーションの出力を同時にミックスすることができます。例えば以下のようなシステム構成が可能です。

例：

- ASIO App (Ableton Live) + WDM App (SONAR) + GSIF2 App (GigaStudio)
- ASIO App (Ableton Live) + MME App (iTunes) + GSIF2 App (GigaStudio)

新機能

Windows ドライバー

V2.01 (Windows 64ビット版専用) の追加

- Windows 7 (64ビット版) に対応しました。

注意

本ドライバーは、Windows 32ビット版にはお使いになれません。

Windows 32ビット版をお使いの方は、V2.00 (32ビット版専用) ドライバーをお使いください。

V2.00 (Windows 32ビット版専用) の追加

- Windows 7 (32ビット版)、Windows Vista SP2 (32ビット版)、Windows XP SP3 (32ビット版) に対応しました。

注意

必ず上記サービスパックと一緒にお使いください。

本ドライバーはWindows 64ビット版にはお使いになれません。

Windows 64ビット版をお使いの方は、V2.01 (64ビット版専用) ドライバーをお使いください。

V1.12の追加

- Windows XP 64ビット版とVista 64ビット版に対応しました。

詳細は、タスカムカスタマーサポートまで連絡ください。V

V1.11の追加

- コントロールパネルの《**Audio Performance**》設定を改善したことにより、バッファサイズを最適に設定する事が可能になりました。

V1.10の追加

- Windows Vista 32ビット版をサポートしました。

V1.02の追加

- Giga Studio と共に利用されるGSIF2ローレイテンシー（低遅延）カーネルMIDIが装備されました。
現在、Giga Studio US-122L/US-144のMIDIポートを選択する場合は、2つのポートが利用可能となります。1つは通常のレイテンシーを持つポートであり、そして、もう片方は高速なMIDI応答を提供するGSIF2ローレイテンシー・ポートです。
- オーディオ・レイテンシーが改善されました。

Mac OS X ドライバー

V2.00 の追加

- Mac OSX Snow Leopard（32ビット版）に対応しました。
（64ビットカーネルモードには対応していません）

注意

Mac OS X v10.5.8またはv10.6以上をお使いの方は、V2.00 ドライバーをお使いください。
Mac OS X v10.3.9またはv10.4.11をお使いの方は、V1.13 ドライバーをお使いください。

V1.11 の追加

- このバージョンにて Mac OS Leopard（10.5.1）をサポートしました。

メンテナンス項目

ファームウェア

V1.12の修正

- オンボードのMIDIデバイスが有効な状態でMacのDAWアプリケーションをサンプル周波数88.2kHz、96kHzにて起動すると起動に長い時間がかかってしまう問題を解決しました。
- パソコン環境によって、一時間以上の長時間再生でノイズが発生することがある不具合を解決しました。

V1.11 の修正

以前のバージョンのファームウェアでは、MIDIの出力がまれにドロップすることがありましたが、この問題を修正しました。

V1.02 の修正

起動時にパソコンがときどき製品を認識しない問題を解決しました。
パソコンの起動時、およびドライバーの初期化の際のアナログ出力のミューティングを改善しました。
以前は、コントロールパネルの設定に関わらずUS-144のデジタル出力が正しく動作しない状態で電源が入ることがありました。これは、コントロールパネルの何らかの設定をかえることで、正常に動作するようになっていました。この問題を修正しました。

Windows ドライバー

V1.12の修正

- ASIO モード時のオーディオレイテンシー調整の精度を向上しました。

V1.11 の修正

- V1.10 で確認された MIDI 出力に関する問題を修正しました。

4 TASCAM US-122L / US-144

Firmware : 1.12, Windows Driver : 2.00 (32bit) / 2.01 (64bit) , Mac OS X Driver : 2.00, Cubase LE4 : 4.0.3

V1.03の修正

- ウィンドウズ・コントロールパネル上のパフォーマンス・コントロールが正常に動作していなかった問題を修正しました。
- 一部のMIDIキーボードコントローラーからのMIDIリアルタイムメッセージを正常に受信出来ていなかった問題を修正しました。

V1.02の修正

- WDMモードにおいて、TASCAM GVIを使用できなかった問題を修正しました。
- WINDOWS/TEMPにインストール・ログが保存されるようになりました。インストールで問題が有る場合は、このファイルを添えてサポートへご連絡ください。
- WDMにおける16、18、20、22、そして24ビットをサポートしました。
- V1.00で必要だった、SONARにおける手動のレイテンシー設定のステップは、必要がなくなりました。

Mac OS X ドライバー

V1.13の修正

- 2008年発売以降のOSX 10.5.6搭載のマッキントッシュ・コンピュータでは、Youtubeなどのインターネット動画再生時に映像が滑らかに再生できない事がありました。これを改善しました。

V1.12の修正

- ASIOモード時のオーディオレイテンシー調整の精度を向上しました。
- DAWからMIDIノートがまったく同じタイミングで発音されるとMIDIアウトからのMIDIノート情報が欠落する事がある問題を修正しました。

注意事項：

利用するMIDIポートは、DAW毎の適切な接続方法をDAWの取扱説明書などで確認し、正しい設定を行ってください。

例：MIDIポートが正しく表示されない場合は、MIDI デバイス割当に衝突が無いかをご確認ください。

V1.11の修正

- デジタル・パーフォーマー（DP）5.1xが利用可能となりました。

注意事項：

DP利用時のサンプルレートの変更は、Audio MIDI設定画面より求めるサンプルレートを選択してください。

既知の不具合

Windows ドライバー

V2.00 の不具合

- アンインストール時に背景に数種の警告表示が見えることがあります、動作には影響しません。

V1.12 の不具合

- US-122L のコントロールパネル、オーディオパフォーマンス設定を Normal から Low (又は Low から Normal) に変えたとき、ASIO の設定が追従しない場合があります。この場合は、一度 Normal または Low 以外を選択してから再度 Normal または Low を設定すれば正しく設定されます。
- US-144 の 96kHz プロジェクトを一旦終了し、その状態から 96kHz のプロジェクトを開くと内部的には、サンプリング設定が 44.1kHz に設定され音声信号がミュートされます。この場合は、Cubase メニューの Device/Device Setup/VST audio setup の《RESET》キーを押すことで正しく設定され音声の有効になります。
- SONAR6.2 ASIO モードのとき、SONAR 側でサンプリング設定を内部的に切り換えても US-122L/144 コントロールパネル内のサンプリング周波数表示が変わりませんが、内部的には設定が有効になっています。

V1.11 の不具合

- nVIDIA USB コントローラーを搭載したパソコンでは、USB2.0 での最適なパフォーマンスが実現できない場合があります。この場合は、より高いレイテンシーセッティングに設定するか、nVIDIA でない USB2.0 カードをご使用ください。
 - パソコンでの USB コントローラー確認には、
 - ・ スタート > コントロールパネル > システム
 - ・ ハードウェアタブをクリック、それからデバイス・マネージャーボタンをクリック
 - ・ USB (Universal Serial Bus) コントローラーの《+ (プラス)》をクリック
 - ・ 全ての USB コントローラーの製造元を確認することが出来ます
- WDM オーディオ・アプリケーション (例えば、Windows Media Player) が稼働中に、US-122L/144 のサンプル周波数を変えると、オーディオは間違った音程で再生されてしまいます。この場合は、WDM オーディオ・アプリケーションを再起動させる事で正常になります。
- US-122L/144 とウィンドウズ・メディア・プレイヤーでの動作信頼性のために、コントロールパネルの《サウンドとオーディオデバイス》を開いて、《音の再生-既定のデバイス》を US-122L/144 に設定してください。

Mac OS X ドライバー

V2.00の不具合

- スリープ状態から復帰後、デバイス認識ができず、オーディオインターフェースの再接続（USB 接続）、もしくはパソコンの再起動が必要になることがあります。

V1.11の不具合

Panther 10.3.9～をお使いの方へ

- Panther 10.3.xにV1.11 ドライバーをインストールする場合：
まず始めに、V1.11 より以前のバージョンがインストールされているかを確認してください。インストールされていない場合はV1.11 以前のバージョンをインストールし、続いてV1.11 をインストールしてください。V1.11 より以前のドライバーが既にインストールされていないMac では、V1.11 のインストールが正常に行われなかったことがあります。
※その他のバージョン、Tiger（10.4.x）, Leopard（10.5.x）に関しては該当しません。

Cubase LE4

V4.0.3の不具合

- 英語版のWindows XPにCubase LE4をインストールする際、Select Languageウィンドウは表示されず、自動的に英語が選択されます。
- Windows VistaにCubase LE4をインストール中に、本来、前面に表示されるべきSelect Languageウィンドウがセットアップウィンドウの後ろに隠れてしまい、インストール動作がとまってしまうことがあります。この時、インストローラーはSelect Languageウィンドウで言語が選択されるのを待っている状態となるため、インストールを継続するには、ウィンドウズのタスクバーでSelect Language ボタンをクリックし、Select Languageウィンドウを最前面に表示された上で言語を選択してください。
- Mac OS X において、Cubase LE4のControl Panel ボタンで、本機のControl panelを起動できません。代わりにファインダーを使用してアプリケーションフォルダーから《**TASCAM US-122L/144 Control Panel**》を起動してください。
- Cubase LE4では、ASIO ポートの名称を変更できます。ポート名をリセットするには、以下の手順を実施してください。
 - 1) デバイスメニューからデバイス設定を選択します。
 - 2) VST オーディオシステムの下にあるASIO ドライバー名を選択します。
 - 3) ポートシステム名称の上にある "リセット" をクリックします。

その他の項目

- MIDI アクティビティ LED と USB LED は、接続されたパソコンがシャットダウン後も点灯し続ける場合があります。これは、パソコンによってはシャットダウン後も USB ケーブルを通じて電力を供給し続けるためです。
- US-144 にてデジタル入力を使用する場合は、clock mode を《**Automatic**》に設定してください。
- MIDI IN 端子に何らかの MIDI データが受信されている場合、**MIDI IN** インジケータが点灯します。MIDI アクティブセンシング・メッセージを送出する機器を接続した場合は、このインジケータが常時点滅することになります。これを回避するには、接続機器の MIDI アクティブセンシングを無効にしてください。
- Cubase と Nuendo は、ASIO ポートの名称を変更可能です。ポート名称をリセットしたい場合は、次のステップを実行してください。
 - ・ デバイスメニューからデバイスセットアップを選択
 - ・ VST 入力をクリック、そして Reset ボタンをクリック
 - ・ VST 出力をクリック、そして Reset ボタンをクリック
- ウィンドウズ・メディア・プレイヤー使用時、コントロールパネル内の《**サウンドとオーディオデバイス**》から MIDI 音楽の再生出力先（既定のデバイス）を Microsoft GS Wavetable SW Synth に設定した場合は、本機の **LINE OUT/PHONES** 出力からは MIDI 演奏を聞くことができません。